

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2016-66107(P2016-66107A)

【公開日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-026

【出願番号】特願2016-20269(P2016-20269)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月29日(2016.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述の課題を解決するための本発明は、画像を担持する記録材と接触しつつ回転する筒状の可撓性回転体であって、張架されていない可撓性回転体を有し、画像を担持する記録材を搬送しつつ加熱する像加熱装置において、前記回転体の母線方向端部で前記回転体の内面に対向する内面对向部と、前記回転体の端面に対向する端面对向部と、を有し、前記回転体が前記母線方向へ寄り移動して前記端面对向部が前記回転体に押されると、前記端面对向部の移動に伴い前記内面对向部が記録材の搬送方向上流に向かって移動し、前記回転体の内面が前記内面对向部に押されることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を担持する記録材と接触しつつ回転する筒状の可撓性回転体であって、張架されていない可撓性回転体を有し、画像を担持する記録材を搬送しつつ加熱する像加熱装置において、

前記回転体の母線方向端部で前記回転体の内面に対向する内面对向部と、

前記回転体の端面に対向する端面对向部と、

を有し、

前記回転体が前記母線方向へ寄り移動して前記端面对向部が前記回転体に押されると、前記端面对向部の移動に伴い前記内面对向部が記録材の搬送方向上流に向かって移動し、前記回転体の内面が前記内面对向部に押されることを特徴とする像加熱装置。

【請求項2】

前記回転体の端面が前記端面对向部から離間すると前記内面对向部が元の位置に戻るよう付勢する付勢部材を有することを特徴とする請求項1に記載の像加熱装置。

【請求項3】

前記内面对向部は、前記搬送方向に対して平行移動することを特徴とする請求項1又は2に記載の像加熱装置。

【請求項4】

前記装置は更に、前記回転体の外面に接触するローラを有し、前記回転体は前記ローラの回転に従動して回転することを特徴とする請求項1～3いずれか一項に記載の像加熱装置。

【請求項5】

前記装置は更に、前記回転体を加熱するヒータを有することを特徴とする請求項1～4いずれか一項に記載の像加熱装置。

【請求項6】

前記ヒータは前記回転体の内面に接触していることを特徴とする請求項5に記載の像加熱装置。